

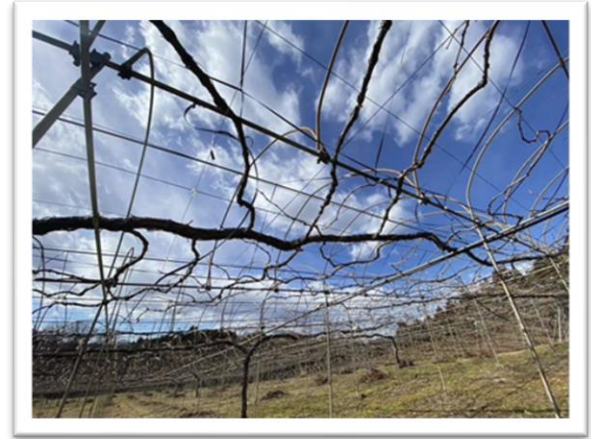
1月報告書

常陸太田市 地域おこし協力隊
ぶどう栽培の担い手 鈴木 駿也

行った主な活動

■ 剪定

長梢剪定は樹勢の抑制に有効で、巨峰や常陸青龍の栽培に適している。しかし、適切な枝の選定と切る長さを判断するには長年の経験が不可欠である。座学だけでは実践が難しく、初日は師匠の剪定を見てイメージし、指導を受けながら大まかな理論を理解することができた。



■ マイカー線付け直し

マイカー線はタヌキやハクビシンなど害獣に齧られて切れてしまっていたり、風で擦れてボロボロになってしまっていたので付け直しをした。

害獣にまた齧られないように水道のホースでマイカー線を覆い対策をした。



■ 二重被覆のビニール貼り

ハウスの内側にビニールを二重張りにすると、加温機の効率が上がる。気温が低い日や夜間でもハウス内の温度をぶどうの生育の適正温度に保ち、霜対策にもなる。

内側のビニールは、3月から4月頃までしか使わないので、外側よりも低コストな素材で、着脱も簡単な作りにした。

※マイカー線はビニールが雨や風からめくれるのを防ぐためのもの

活動を行った感想など

長梢剪定は、農家さんそれぞれで考え方もやり方も全く違う。正解はないけれど、なんとなくで切っている人も多い。植物生理をしっかり勉強して、正しくかつ自分に合ったやり方を追求していきたい。

マイカー線は、せっかく付けても齧られてしまっただけは無駄な作業になってしまうので、違う素材の紐を探したり、獣が近寄らない対策を考える必要があると思った。

